



12月の園だより



令和6年12月1日
ほづみ幼稚園

ほづみ幼稚園の園庭は、落ち葉の季節を迎えていました。移り変わる季節のこの時期、数枚の葉を残しあだけの木々が目立つようになりました。日はますます短くなり、季節は初冬へと向かっています。

さて、11月の保育参観には多数の保護者の方にお越しいただき本当にありがとうございました。年長児は「お店屋さんごっこ」と位置付けてお店屋さんを出すという共通の目的をもって取り組み、互いの良さを認め合ったり、やり取りをしたりしながらコミュニケーション能力が育ちました。また、年中児や年少児は親子で一緒に活動したり、制作をしたりしながら、素材に触れたりアイデアを出し合ったりする中で、表現する楽しさや想像力が育ちました。

子どもたちが知恵を出し、大人では考えのつかないアイデアが生まれ、一生懸命に取り組めたのは、保護者の皆様の愛情のお陰と心より感謝申し上げます。
ありがとうございました。



☆みんなが大きく成長した2学期に感謝です

子供たちは、どんぐりや松ぼっくりなどの秋の自然物に触れ、コリントゲームやどんぐりコースター作りを友達と協力して進めています。うまく貼れない部分を友達と協力して取り組み、コースをカーブさせようと、廃材をつなげたりする中で、思い通りにいかない場面もありましたが、試行錯誤を重ねながら「こうしたらどうかな?」と自分で考え、友達と意見を出し合いながら諦めずに挑戦しようとする姿がみられました。

また年少児はどんぐりの転がる様子を見て楽しんだり、音の違いや転がり方の違いに気付いたりと、自然物への興味がより深まっています。

園庭では、転がしドッジボールやドッジボールなどの遊びで自分たちでルールを決め、友達と関わり合って夢中で遊ぶ姿が見られます。パカポコや縄跳びにも挑戦し、自分の目標に向かって元気いっぱいに体を動かして過ごしています。

子どもたちは、それぞれの年次の活動や体験を通して、たくさんのこと学んでいます。友達を意識し、友達と一緒に活動することが「楽しい」と感じられる子が増えました。半面、友達との思いの違いからくるいざこざも出できます。いざこざを解決する営みは、子どもの成長にもつながる大事な経験でもあります。自分の思いや考えを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりできる機会を大切にし、相手に対する優しい言動の心地よさや人との関わりを学び、楽しい園生活を過ごしてほしいと願っています。

今後は、子どもたちが楽しみにしているクリスマス会、音楽会等の行事も予定しています。今から楽しみです。

11月25日(火)は、教育委員会の皆様や市内の小中学校の先生、保育所の先生方に来ていただき、子どもたちの遊びの様子を見ていただきました。子どもたちが、自分たちのやりたいことに向かって夢中になって遊ぶ姿や、言動の温かさ、考え方をする姿など子どもたちの成長にお褒めの言葉をいただきました。今後も職員一同、園目標である「夢や憧れのある美しい心の楽しい幼稚園」を目指して精一杯努めてまいります。

よろしくお願ひいたします。



毎月1日は、「あいさつ運動の日」です！

幼稚園では毎朝「おはよう」という元気な挨拶や、ニコッとはほ笑む挨拶、恥ずかしそうな挨拶など様々な挨拶が飛び交っています。瑞穂市では毎月1日を「あいさつ運動の日」とし、瑞穂市の子供たちが健やかに育つよう願い、地域ぐるみで取り組んでいる活動です。今年度は年長のあいさつ隊にPTA役員の方も一緒に回り、あいさつの大切さを知らせてもらっています。家庭でも子供たちに負けないように、「おはようございます」の声を積極的にかけてみませんか？挨拶が飛び交う地域、挨拶で仲良くなる幼稚園、一人一人の言葉がきっと誰かの心を開きます。

皆さんでつながりを深めていきましょう！

こどもかいぎ

全クラス、毎日遊んだ後にはクラスのみんなで“こどもかいぎ”（ふれあいタイム）をしています。自分の思いがはっきりと伝えられる子、みんなが手を挙げるから元気いっぱい挙げて当てられたら恥ずかしくて話せない子等、姿は様々です。年長・年中さんは、みんなの前でお話をします”イメージがつくかと思いますが、年少さんでもこの時期になるとみんなの前でお話ができるようになってきます。「今日のどんぐり滑り台やコンサートどうだった？」と担任が問いかけると、「今日はどんぐりをコロコロ転がすのが面白かった！」「みんなでコンサートをしたのが楽しかった」等それぞれの遊びや楽しかったことをそれぞれの言葉で話しています。年齢が低いのでなかなか会話が膨らんでいきませんが“対話”することを大切にしています。各クラス、そして園全体で、“対話力”を育み、身に付けていきたいと思います。

寒い日にはご家族で

こんな遊びも！

手押しすもう

2人で向かい合って立ち、手のひらで押し合って相手のバランスを崩す遊びです。先にバランスを崩し、足が離れたり、動いたりしてしまった方が負けです。

しりとり遊び

皆さんご存知のしりとり遊びです。その他に「頭とり」や「あ」の付く物探し、動物の名前しりとりも面白いですね。子供たちの集中力と語彙力がアップすること間違いなしです。

冬至の食べ物 今年は12月22日です！

冬至と言えば「ゆず湯」と「かぼちゃ」ですね。この日に「ん」の付く食べ物を食べると「運」がつくともいわれています。「ん」のつく食べ物なのにかぼちゃ？？と思いますが、かぼちゃは別名「南京(なんきん)」ともいい、「ん」がつくのでこの日に食べられます。人参・レンコン・大根なども「運盛り」といって縁起担ぎの食べ物です。旬の野菜には「ん」が付く食べ物がたくさんあります。バランスよく取り入れて風邪や感染症にかかるないようにしたいですね。また、冬至にゆず湯に入ると風邪を引かずに冬を越せると言われています。

ゆず湯に入り、美味しい食べ物を食べて、元気に冬を越しましょう。

じっくり絵本を楽しもう！

この季節には、クリスマスやお正月といった子供たちにとって楽しみな行事がたくさんあります。サンタさんやプレゼントなどわくわくしますね。季節の変化も子供たちの目で捉えやすく、生活の中で直接体験できる事項がテーマとなっている作品は子供たちも受け入れやすいと思います。冬の絵本を3冊紹介したいと思いますので、お子さんと読んでみてくださいね。

○サンタさんのお仕事マニュアル

(文 クリフとファー・エッジ

絵 ティム・ハッチンソン、リチャード・ジョンソン、マギー・ニーン、サンディ・ナイシングエール、マイク・フィリップス)

・サンタクロースの不思議がしきけ絵本になっている楽しいお話です。

○かさじどう

(再話 濑田貞二 絵 赤羽末吉)

・お正月を迎える時にぜひ読んであげたい日本の原風景的昔話です。

○おもちのきもち

(作 かがくいひろし)

・お正月になれば、床の間に鎮座します「かがみもち」。おもちに気持ちはあるのかな？

師走ですね

1年の締めくくりの月になりました。この1年、私たちは子供たちに「ああ、楽しかった」といえる1年を過ごさせていくことができたでしょうか。『楽しかった』と感じるのは、心を受け入れられた環境の中で、感動を伴った体験をした時。子供時代の今この時しかできないことを、子供たちの心に、経験させていきたいと思います。